



安全運転を願い 繭マスコット運動

11月28日(月)、戸倉地区の国道45号沿いで戸倉小学校の児童が交通安全繭マスコット運動を行いました。この日参加したのは、4年生13名で、自分たちが育てた蚕の繭でチュリップ型のマスコットを作成し、ドライバーに手渡ししながら安全運転を呼びかけました。同小学校では、昭和62年からふるさと教育の一環として蚕の飼育をしており、震災前は黒崎のパーキングでこの運動を行っていました。昨年は、復興事業に携わる事業所を訪れ、作業員に交通安全繭マスコットを贈り運動を実施、今回は戸倉地区にあるドライブインひと休み前にて6年ぶりの国道沿いでの実施となりました。



自然を学び、体験しよう 海のビジターセンター オープン



11月19日(土)、南三陸・海のビジターセンターの開所記念式典が現地にて執り行われました。同施設は、戸倉地区に環境省が整備したもので、三陸復興国立公園や周辺の自然について学ぶことができる展示コーナーのほか、レクチャールーム、実習室などがあり、2階テラスからは志津川湾が一望できます。環境省、南三陸町、石巻市、NPO法人海の自然史研究所で組織するフィールドミュージアム運営協議会がシーカヤックやシュノーケリングなどの自然体験活動や環境教育のプログラムを展開していきます。同施設は、午前9時30分から午後4時30分まで開館しており、火曜日が休館となります。

正月に向けて しめ縄づくり教室

12月11日(日)、入谷公民館においてしめ縄づくり教室が開かれました。入谷地区の方が講師となり、約30名の参加者がわら細工で正月用のしめ飾りを作りました。初めて参加した方も毎年参加している方も、苦戦しながらもしめ飾りを完成させ、新年を迎える準備をしました。



南三陸町高齢者 スポーツ交流大会

11月30日(水)、ベイサイドアリーナにおいて南三陸町高齢者スポーツ交流大会が行われました。この大会は、老人クラブ間の交流・啓発を目的としたもので、震災後2回目の開催となった今回は約250名が参加しました。バウンドさせたボールを背中のカゴに入れる「背中でキャッチ」と「玉入れ」の2種目が今回から種目に加わり、計6種目の競技数となりました。熱い声援のもと、各地区混成で組み分けられた4チームが競い合い、互いに交流を深めました。



商工会青年部・女性部全国大会 主張発表大会 最優秀賞受賞

11月8日(火)と9日(水)の2日間、福島県にて開催された第18回商工会青年部・女性部全国大会での主張発表大会に東北・北海道ブロック代表として南三陸商工会青年部及川善弥さんが出場し、最優秀賞を受賞しました。大会は、約10分の発表で商工会青年部・女性部で何をしてきたかを主張し、内容とパフォーマンス等が評価されます。12月9日(金)に町長室に報告に訪れた際には、震災後は活動ができなかったため、これからの展望を語ったと及川さんは話し、町長もその健闘をたたえました。



伊里前福幸商店街 オープン5周年記念イベント

12月11日(日)、伊里前福幸商店街においてオープン5周年を記念したイベントが開かれました。来年からは新施設での開業となるため、仮設店舗でのオープン記念イベントは今回で最後となります。会場内では、買った海産物を炭火焼きにできるコーナーが設けられたほか、タイムサービスでの大特価販売会やお楽しみ抽選会も開催され、多くの人で賑わいました。また、記念ステージとして音楽ライブや太鼓の演舞などが披露され、会場をより盛り上げていました。

